

じもと  
HOLDINGS

2019.3

MINI DISCLOSURE

じもとホールディングスミニディスクロージャー誌

 きらやか銀行  仙台銀行

本社所在地 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号  
電話番号 022-722-0011(代表)  
設立年月日 2012年10月1日

資本金 170億円  
上場取引所 東京証券取引所  
ホームページ <https://www.jimoto-hd.co.jp/>



きらやか銀行

本店所在地 山形市旅籠町三丁目2番3号  
電話番号 023-631-0001(代表)  
設立年月日 2007年5月7日  
資本金 227億円  
預金・譲渡性預金 12,643億円  
貸出金 10,315億円  
従業員数 963人  
店舗数 117カ店(県内98カ店、県外18カ店、その他1カ店)  
(注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での店舗  
統合による実質店舗数は62カ店(県内45カ店、県外  
16カ店、その他1カ店)。  
ホームページ <https://www.kirayaka.co.jp/>



仙台銀行

本店所在地 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号  
電話番号 022-225-8241(代表)  
設立年月日 1951年5月25日  
資本金 224億85百万円  
預金・譲渡性預金 10,561億円  
貸出金 7,342億円  
従業員数 744人  
店舗数 72カ店(注)  
(注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での  
店舗統合による実質店舗数は56カ店(うち出張  
所3カ店)。  
ホームページ <https://www.sendaibank.co.jp/>



株式会社じもとホールディングス社長  
株式会社きらやか銀行頭取

栗野  
学



株式会社じもとホールディングス会長  
株式会社仙台銀行頭取

鈴木  
隆

## ごあいさつ

平素より格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

本年度、2018年4月より開始した「顧客本位の本業支援」「統合効果発揮」の2つをキーワードとする中期経営計画が2年目を迎えました。

「顧客本位の本業支援」については、本業支援を核とした持続可能なビジネスモデルの確立に向け、グループを挙げて「中小企業成長戦略」や「非金利収入増加戦略」などを中心に各種施策を展開しております。

地元中小企業の皆様に徹底した「本業支援」を展開することで、お客さまの喜びと成長を通して安定的な顧客基盤と収益基盤を確立し、ひいては地域経済の発展、地方創生に貢献すべく取り組んでおります。

一方「統合効果発揮」については、グループの業務運営態勢を再構築し効率化を加速させるべく「事務集中業務の集約」や「業務フローの統一化」、「店舗網の見直し」をはじめとする各種取り組みを推進してまいりました。

本誌では、2019年3月期のグループ業績と、当社グループが一丸となり取り組んでいる「本業支援」の活動についてご紹介しておりますので、是非ご覧ください。

皆様方におかれましては、今後とも、じもとグループに更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



じもと  
HOLDINGS

## CONTENTS

会社概要	巻頭
ごあいさつ	01
中期経営計画の取り組み状況	02
本業支援事例	
きらやか銀行	04
仙台銀行	05
トピックス	
じもとホールディングス	06
業績ハイライト	
じもとホールディングス	07
トピックス	
きらやか銀行	08
仙台銀行	10
わたしたちのじもと紹介	
きらやか銀行	12
仙台銀行	13
業績ハイライト	
きらやか銀行	14
仙台銀行	16
株主の皆様へ	巻末

## 新中期経営計画の理念

我々は“なぜ”  
「本業支援」に  
取り組むのか？

- 必要とする支援を受けられていない  
中小企業の皆さまの力となるため
- 地元の復興ならびに地方創生に  
貢献するため



## キーワード Keyword

顧客本位の  
本業支援

統合効果発揮

中期経営計画の柱

じもと  
グループの  
目指す姿

- 「本業支援」でお客さまの喜びと成長を通して、地域経済の発展・地方創生に貢献していく。
- グループの統合効果を最大限に発揮し、地元の復興の一助となる。
- グループの収益確保と財務の健全性確保に努め、安定した顧客基盤、収益基盤を確立する。

## 計数計画と経営指標

	2018/3期(始期)	2019/3期 計画	2019/3期 実績	2020/3期 計画	2021/3期 計画
コア業務純益	44億円	44億円	41億円	50億円	62億円
当期純利益	34億円	22億円	18億円	30億円	40億円
コアOHR	85.27%	85.04%	85.74%	83.39%	79.95%
預金平残	23,131億円	23,350億円	23,063億円	23,585億円	24,020億円
貸出金平残	16,689億円	16,992億円	17,029億円	17,436億円	17,955億円
自己資本比率	8.70%	8.53%	8.39%	8.41%	8.35%
顧客向けサービス 業務利益(始期比増加額)	▲28億円 ( - )	▲19億円 (+9億円)	▲15億円 (+13億円)	▲11億円 (+17億円)	1億円 (+29億円)

\*顧客向けサービス利益＝貸出残高×預貸金利回り差＋役務取引等利益－営業経費

## 持続可能な ビジネスモデルの確立 ～「本業支援」を核とする～

### 2018年実績

- グループおよび外部機関との連携強化  
(ビジネスマッチング紹介実績累計2,500件突破)  
(東京きらぼしフィナンシャルグループとの  
ビジネスマッチング紹介実績累計100件突破)
- 福利厚生をサポートする新サービスの展開
- SBIマネープラザとの共同店舗設立

### 2019年施策

#### 本業支援を核とする中小企業成長戦略の展開

- 財務の改善支援、企業価値の向上に寄与

#### 仙台地区におけるじもとグループの存在感向上

- 仙台地区営業戦略の展開
- きらやか銀行の審査担当者を仙台銀行本店内へ配置

#### IT・FinTechへの対応

- キャッシュレス対応・アプリバンキングの導入

## 効率化・合理化 ～グループ業務運営態勢再構築～

### 2018年実績

- 両行本部部署間による人事交流実施
- グループ共通のイントラネット導入
- きらやか銀行事務センターへの業務集約  
(5年間で3億2千万円のコスト削減見込み)

### 2019年施策

#### グループ業務運営態勢の見直し

- バックオフィス統一による業務効率化

#### グループのメリットを活かした更なるコスト削減

- システム・帳票等の統一化
- きらやか銀行事務センターへの更なる業務集約

#### RPAによる業務効率化

- ローン受付業務、事務センター業務

## ガバナンス態勢の強化

### 2018年実績

- 改訂コーポレートガバナンス・コードへの対応

### 2019年施策

#### 監査等委員会設置会社への移行

- 取締役会の監督機能強化、迅速な意思決定および  
業務執行態勢の確立

# 強みを最大限に活かす 提案を実施

～蔵王温泉を盛り上げたい！～

山形県蔵王温泉地区にある老舗旅館、株式会社若松屋旅館様は、「当地の魅力を多くの人に知ってもらい、蔵王温泉を盛り上げたい」という想いがある一方で、旅館の集客数には季節変動があるという課題もお持ちでした。当行は社長様の想いに共感し、同社と蔵王温泉にゆかりのある「斎藤茂吉」を前面に押し出しPRすることを提案。協議を重ね、緑の美しい初夏に斎藤茂吉の誕生祭を開催したところ、全国から多数の旅行客が来場され、“冬季だけではない”蔵王温泉の魅力を多くの方に知っていただくことができ、集客増加にも繋げることができました。

## 好評につき、翌年もイベントを開催！

第2回目の「<sup>しやっこうさい</sup>赤光祭」開催にあたり、当行の本部も連携して新聞社に情報を提供し、集客増加に向けたお手伝いをしました。



株式会社若松屋旅館 代表取締役 斎藤 長右衛門様

創業は明暦元年(1655年)で、きらやか銀行には長年お世話になっております。歌人である斎藤茂吉の縁戚に当たり、日本古来の文化である和歌(うた)をテーマに宿づくりをしております。東日本大震災や蔵王山の噴火警戒レベル引き上げによる風評被害に苦しめられた折も、本業支援を通してサポートしていただきました。現在も経営全般についてお手伝いいただいております。

## 想い

蔵王温泉の魅力を  
多くの人に知ってもらい、  
盛り上げたい

## Point 1

### 計画の進捗・課題を共有

事業計画書に基づき進捗を共有する中で、旅館の集客数に季節変動があるという課題が浮き彫りになり、課題解決に向けた方策について検討・協議しました。

## Point 2

### 強みを活かすPRを提案

同社と蔵王温泉にゆかりのある「斎藤茂吉」は旅館の特徴の一つであり、その特徴を前面に押し出すことを中心としたブランド化戦略を提案しました。

## 斎藤茂吉の誕生祭を開催！



蔵王温泉の四季折々の魅力を多くの方に知っていただくことを目的に開催した、斎藤茂吉の誕生を祝う「<sup>しやっこうさい</sup>赤光祭」は、樹木の保護活動を支援するチャリティーイベントでもあります。

## 担当者の声

当行は、若松屋旅館様より長年お取引いただいております。同社を含め蔵王温泉地区全体をさらに盛り上げるため、これからも様々な本業支援を展開してまいります。

きらやか銀行 本店営業部  
安藤 正宏 代理



# ビジネスマッチングで 新商品開発を支援

～コラボ商品誕生！～

仙台市で和菓子の製造販売を手掛ける有限会社 つつみ屋様は、かねてより、地元の食材を使用したお菓子を作りたいと考えており、近年話題の食材「藻塩」を使った大福の商品開発に取り組まれました。



## Point 1 藻塩の仕入れ先を紹介

藻塩大福の開発にあたり、同社の小原社長より、藻塩の仕入れ先を探しているとの話があったことから、営業店・本部が連携し、塩釜市で海産物の加工販売を行う株式会社シーフーズあかま様を紹介しました。

その結果、ビジネスマッチングが成立し、2社によるコラボ商品「藻塩大福」の商品化に至りました。



藻塩ずんだ大福 藻塩くるみ大福

## Point 2 商品のPR方法をアドバイス

藻塩大福の販売にあたっては、業務提携先と連携のうえ、PR方法として、プレスリリースの活用を提案しました。

その結果、同商品は新聞記事に取り上げられ、PR効果もあり、新商品の販売は好調となっています。



プレスリリース



有限会社つつみ屋 常務取締役 小原 学様

新商品として「藻塩大福」を検討するにあたり、原材料の藻塩を提供してくれる事業者様をご紹介いただきました。

情報を提供するだけでなく、しっかりと両者の間に立って円滑な取引のサポートをしていただき非常に助かりました。

今後も、単なる金融機関ではない、地元の発展を応援する潤滑油のような存在としてあり続けていただければと思います。

株式会社シーフーズあかま 代表取締役社長 赤間 俊介様

弊社が「しおがまの藻塩」を開発してから12年になり、これまで梅や柚子・バジル等を使った香り藻塩を商品化いたしました。

東日本大震災後、販路先開拓に苦悩する中、仙台銀行の仲介により「藻塩大福」が商品化されました事に感謝を申し上げるとともに、つつみ屋様の商品開発に対する探究心に敬意を表します。



## 担当者の声

今回、このような素敵な出会いに携われたこと、またこれにより新商品が開発できたことを大変嬉しく思っております。

今後も、お客さまの想いを実現するため、営業店・本部が連携し、財務面だけではなく様々な経営課題の解決へ向けたサポートを行ってまいります。

仙台銀行  
地元企業応援部  
齋藤 智彦 代理



## ビジネス商談会を開催

じもとグループは、2019年2月、地元の企業ときらばし銀行（東京都）からの紹介企業をつなぐ合同商談会を開催いたしました。この商談会は、東京きらばしフィナンシャルグループとの間で締結している「本業支援に関する連携協定」に基づき、販路拡大を目指す地元企業への本業支援の一環として企画したもので、山形会場と仙台会場の2会場において、計42社の企業にご参加いただきました。

商談会終了後、参加サプライヤーからは「行員のフォローがあり、安心して商談ができた」「裾野を広げるいい機会になった」、バイヤーからは「サプライヤーの熱意を感じ、有意義であった」などのご意見をいただくことができました。

じもとグループはこれからも、地域を超えた情報網を活かしてお客さまの本業支援に取り組んでまいります。



ビジネス商談会

## 「介護事業者向けセミナー」を開催

じもとグループ両行は、2018年8月、独立行政法人住宅金融支援機構と「サービス付き高齢者向け住宅に対する融資における協調融資に関する協定書」を締結し、その記念企画として、2019年2月に介護事業者の事業課題解決に向けたセミナーを開催いたしました。セミナーでは、介護経営コンサルティングのスペシャリストをお呼びし、介護事業者の業績・稼働率向上や人材採用・教育について、講義形式でアドバイスいただきました。

じもとグループでは、今後も様々なセミナー等を通じて、お客さまの本業にお役立ていただける有益な情報提供を行ってまいります。



介護事業者向けセミナー



## じもとホールディングス連結業績

(単位:百万円、%)

	2019年 3月期	前年同期比	増減率	2018年 3月期
	連結経常収益	42,850	183	0.4
経常利益	2,592	△1,124	△30.2	3,717
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,630	△1,387	△45.9	3,018

2019年3月期の連結業績は、連結経常収益は428億50百万円、経常利益は25億92百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は16億30百万円となりました。

## きらやか銀行・仙台銀行(単体)の2行合算

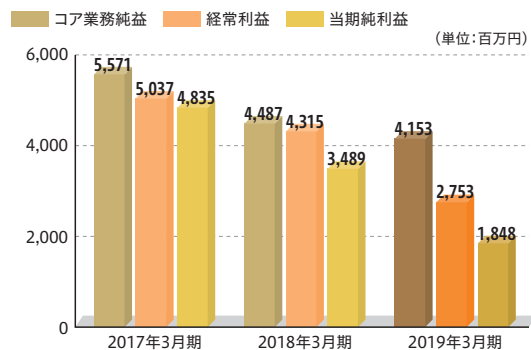
(単位:百万円、%)

	2019年 3月期	前年同期比	増減率	2018年 3月期
	経常収益	37,286	△132	△0.3
業務粗利益	28,860	△808	△2.7	29,669
経費 (除く臨時処理分)	24,994	△995	△3.8	25,989
コア業務純益	4,153	△333	△7.4	4,487
経常利益	2,753	△1,562	△36.2	4,315
当期純利益	1,848	△1,640	△47.0	3,489
貸出金	1,765,823	42,284	2.4	1,723,539
預金 (譲渡性預金を含む)	2,320,496	△15,678	△0.6	2,336,175
有価証券	507,251	△86,278	△14.5	593,530

2行合算の経常収益は、前年同期比1億32百万円減少の372億86百万円となりました。

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費が減少したものの、資金利益が減少したことなどから、前年同期比3億33百万円減少の41億53百万円となりました。

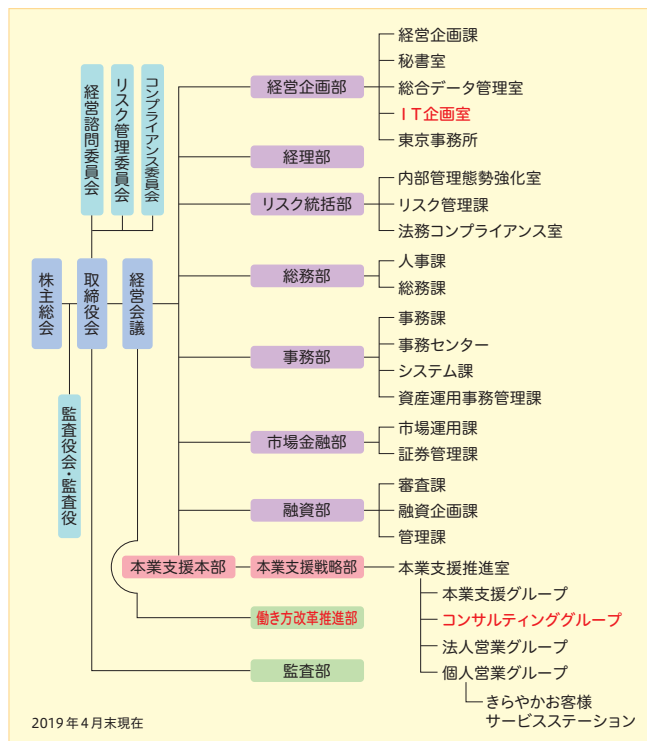
経常利益は前年同期比15億62百万円減少の27億53百万円、当期純利益は前年同期比16億40百万円減少の18億48百万円となりました。



## 本部組織の再編

本部組織の再編により、新たに2部門の新設と、1部門の名称変更を実施いたしました。今般の再編により、当行の経営戦略の柱である「本業支援」をさらに強化するとともに、働き甲斐のある職場作りを目指してまいります。

- (1) 「働き方改革推進部」を新設しました。働き方改革を推進するため、業務削減・効率化や人材活用に関する業務を集中的に行います。
- (2) 経営企画部に「IT企画室」を新設しました。経営戦略に合わせたIT・FinTechへの対応の迅速化を図ります。
- (3) 本業支援戦略部本業支援推進室の「成長グループ」を「コンサルティンググループ」に名称変更し、コンサルティング業務の集約を図るとともに、当行の子会社であるきらやかコンサルティング&パートナーズとの連携を強化します。



## 「新入社員フォローアップ研修」の開催

当行ときらやかコンサルティング&パートナーズでは、お取引先企業の人材育成支援の一環として、毎年春に「新入社員研修」を実施しております。その後、職場の雰囲気や仕事に慣れ始める一方で社会人としての悩みや問題意識が芽生えてくる秋頃を目処に、ビジネスマナーの再確認とコミュニケーション力の向上を目指し、ロールプレイング等を交えたフォローアップ研修を実施しております。



新入社員フォローアップ研修

## 旧漆山支店を寄贈 ～地域の学童保育所に～

地域貢献活動の一環として、山形市にある旧漆山支店を、宗教法人浄土院様に寄贈し、新たに「出羽学童保育所第4受楽園」に生まれ変わった同所の開所式が2018年12月に執り行われました。今般の寄贈は、地域住民から寄せられた出羽地区の学童保育所定員超過の声に対し、出羽学童保育所運営委員会が山形市の委託を受け、当行の旧漆山支店を学童保育事業に活用したものです。



出羽学童保育所第4受楽園開所式（旧漆山支店）

## 「きらやかレディースセミナー」の開催

2018年2月、当行ときらやかコンサルティング&パートナーズが東北文教大学と連携し「きらやかレディースセミナー」を開催いたしました。本セミナーは、「きらやか人材育成プログラム」の一環として毎年テーマを決めて行っており、今回が3回目の開催となりました。今回は、介護と仕事の両立の秘訣や実技を取り入れた「運動×脳トレで認知症・介護予防」の講義が行われ、講義後のグループワークではコーヒーとスイーツを楽しみながら活発な意見交換が行われました。



きらやかレディースセミナー

## きらやか産業賞、30回目となる贈呈式を挙行

2019年3月、「第30回きらやか産業賞」および「第23回ベンチャービジネス奨励賞」の贈呈式を執り行いました。30回目という節目の年を迎えた「きらやか産業賞」は、技術や経営の革新・国際化・教育訓練の面で特に優れた実績を挙げている県内の中小企業と団体・個人を対象に表彰を行っており、また「ベンチャービジネス奨励賞」は、特に将来性があり、新技術・新製品などの研究開発を行う中小企業と関連団体・研究成果による起業を予定している個人・団体に対し、地元産業の活性化を目的に毎年選出・表彰を行っております。



きらやか産業賞・ベンチャービジネス奨励賞贈呈式

## キャッシュレス化に向けた取り組みを推進！

### ●「Origami Pay」における即時口座振替サービスの連携を開始

当行は、2018年11月、株式会社Origamiが提供するスマホ決済サービス「Origami Pay」において、即時口座振替サービスの連携を開始いたしました。

Origamiアプリに当行の預金口座を登録いただくと、加盟店でのお買い物時に、バーコードを提示またはQRコードの読み込みを行うだけで、代金を口座からリアルタイムで決済することができます。ぜひ、ご利用ください。



### ●「キャッシュレス決済導入セミナー」を開催

当行では、地域の中小規模店舗・事業者様を対象に、「キャッシュレス決済導入セミナー」を開催いたしました。

2019年3月には日本政策金融公庫と、4月には杜の都信用金庫、塩釜商工会議所との連携により開催し、キャッシュレス決済の概要やメリット等について説明を行いました。

当行では、今後もお取引先の経営課題解決に向けた本業支援に積極的に取り組んでまいります。



キャッシュレス決済導入セミナー

## 「仙台銀行アプリ」の取り扱いを開始！

当行は、2018年12月、個人向けスマートフォンアプリ「仙台銀行アプリ」の取り扱いを開始いたしました。

本アプリでは、当行口座の残高や入出金明細をご確認いただけるほか、株式会社マネーフォワードが提供する「おさいふ管理」機能をご利用いただくことにより、他行口座やクレジットカード、電子マネーなど、様々な金融関連サービスの利用状況を一括管理することができます。

当行は、引き続きお客さまにより便利にご利用いただける様々なサービスを提供してまいります。



仙台銀行アプリイメージ

## 石巻支店がリニューアルオープン！

2019年1月、石巻支店は、約5カ月間にわたる大規模改修工事を終え、リニューアルオープンいたしました。

入口へのスロープ導入や駐車場の再整備、営業室内の照明LED化など、設備の充実化を図り、お客さまにより快適にお過ごしいただける環境となりました。

当行では、引き続きお客さまの利便性向上、質の高いサービスの提供に積極的に取り組んでまいります。



リニューアルした石巻支店

## 2018年度「いきいき男女・にこにこ子育て応援企業表彰」において最優秀賞を受賞！

当行は、宮城県が実施する2018年度「いきいき男女・にこにこ子育て応援企業表彰」において、最優秀賞の企業に選定されました。

企業主導型保育施設の設置や有給休暇の取得促進などのワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取り組み、女性活躍推進に向けた取り組みが評価され、受賞に至ったものです。

当行は、働きがいと働きやすさを両立する組織を作ることで企業力を高め、「人で勝負する銀行」を目指してまいります。



表彰式

## コンビニATM サービス時間を24時間化！

当行は、2018年12月、コンビニATM（セブン銀行、ローソン銀行、イーネット）のサービス時間を24時間に拡大し、より便利にご利用いただけるようになりました。

当行は、今後もお客さまにご満足いただけるよう、金融サービスの向上に努めてまいります。



# わたしたちのじもと紹介

じもとの「おすすめ情報」を  
じもとの行員が紹介いたします。



## 長崎支店のある街 山形県東村山郡中山町

中山町は、最上川が北部に流れ「ひまわり」の花が町のシンボルになっています。樹齢750年以上の「お達磨の桜」を見ようと、春にはお花見客で賑わう「お達磨の桜公園」があるほか、“芋煮会発祥の地”と言われている当地では、毎年秋に「元祖芋煮会in中山」が開催され、来場者が芋煮を作り「芋煮会」を体験することができます。

また、東北有数のすももの生産地としても有名であり、すももの風味を生かしたワインなども作られています。

中山町にある長崎支店の近くには、きらやか銀行硬式野球部の練習場もあり、選手たちは全国大会に向けて日々の練習に励んでいます。



きらやか銀行 長崎支店 小島 康明 行員

支店では窓口業務を担当しております。また、きらやか銀行硬式野球部に所属し、投手としても頑張っております。野球を通して、地域のお客さまとの架け橋となれるよう励んでまいります。引き続き、きらやか銀行と硬式野球部をよろしくお願いいたします。



長崎支店



お達磨の桜



小島投手



## 上山支店のある街 山形県上市

上市市には美味しい食べものや飲みものがたくさんあります。毎年初夏に行われる「やまがたワインバル in かみのやま温泉」では、山形県内外から多数のワイナリーが集まり、美味しいワインとかみのやまの街歩きを楽しむことができます。かみのやまの魅力を、飲んで、歩いて、知ることができる素晴らしいイベントです。

また、上市市はゆかたが似合う街でもあります。昨年の「市民ゆかたデー」では、当支店の女性行員も浴衣を着て業務を行いました。窓口が涼しげで華やかになりお客さまからも大好評でした。



きらやか銀行 上山支店 久連山 理紗 行員

窓口業務を担当しています。様々な想いを持って来店されるお客さまのご要望や目的を正確に判断し、お一人おひとりにぴったりの商品や手続きをご案内できるよう務めております。窓口の担当者はご来店されるお客さまと直接関わりあいを持つ、銀行の“顔”です。これからも、笑顔と心くばりを忘れずに業務に励んでまいります。



上山支店



浴衣を着て業務を行った女性行員



やまがたワインバル in かみのやま温泉

＼ きっと気になる情報が見つかりますよ。 /

CHUGU-DORI

## 中央通支店のある街 仙台市青葉区中央

中央通支店は仙台駅前、ハピナ名掛丁商店街アーケード内で営業しています。商店街には老舗から都心で人気のカフェなど多種多様なお店が軒を連ねています。名掛丁商店街から続くクリスロード商店街の中心には、商売繁盛を祈願している「三瀧山不動院」があり、毎年7月に開催される夏祭りには、私たち支店職員も参加しております。また、日本三大七夕の1つといわれる仙台七夕まつりでは、商店街いっぱいに七夕飾りが飾り付けられ、アーケード内が一段と華やかに彩られます。

中央通支店は、今後も地域の行事に積極的に参加し、商店街のさらなる発展に貢献できるよう、職員一同尽力してまいります。



仙台銀行 中央通支店 小田嶋 梨加 行員

為替業務を担当しております。窓口ではいつも笑顔でいることを心掛けており、お客さまの立場に立って誠意をもって対応し、信頼していただける銀行員となれるよう努めてまいります。



中央通支店（仙台七夕まつり）



地域行事に積極的に参加しています

ISHINOMAKI

## 石巻支店のある街 宮城県石巻市

石巻市は北上川の恵みの大地と世界三大漁場金華山沖を抱える港街です。東日本大震災から8年が経過し、着実に復興の歩みを進めております。市内には仮面ライダーやサイボーグ009などの作者、故石ノ森章太郎先生のミュージアム「石ノ森漫画館」や、三陸地域の旬の鮮魚・水産加工品を取り揃える「いしのまき元気いちば」など観光資源が豊富です。

是非、一人でも多くの方に実際に足を運んでいただき、「石巻」を体感していただけたら嬉しいです。皆様のお越しを心よりお待ちしております。



仙台銀行 石巻支店 角田 智洋 主任

融資渉外担当者として、お客さまの本業支援、創業や事業承継、販路拡大につながるマッチング等をご提案しております。お客さまが抱える課題一つひとつに対処力になれるよう、「お客さまにとってのベスト」を迅速にご提案できる銀行員を目指しております。



石巻支店 2019年1月にリニューアルオープンいたしました

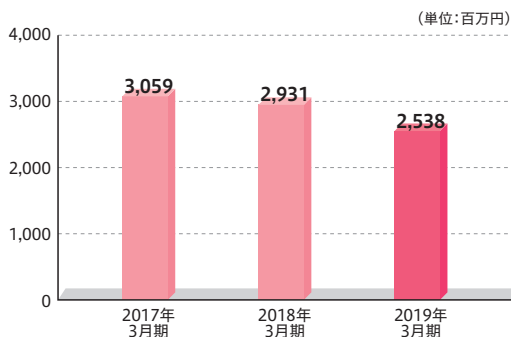


石ノ森漫画館

# 業績ハイライト(単体)

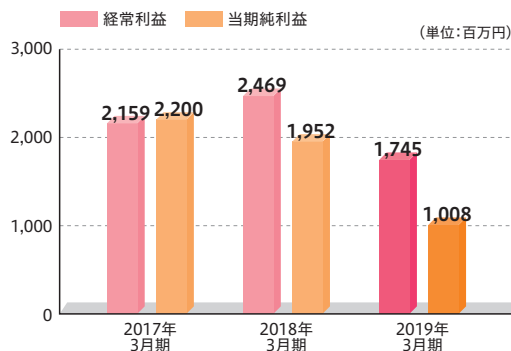
## コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費が減少したものの、資金利益が減少したことなどから、前年同期比3億93百万円減少の25億38百万円となりました。



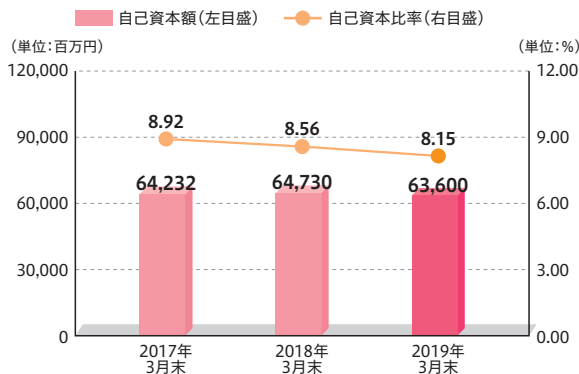
## 経常利益・当期純利益の状況

経常利益は、前年同期比7億23百万円減少の17億45百万円、当期純利益は、前年同期比9億44百万円減少の10億8百万円となりました。



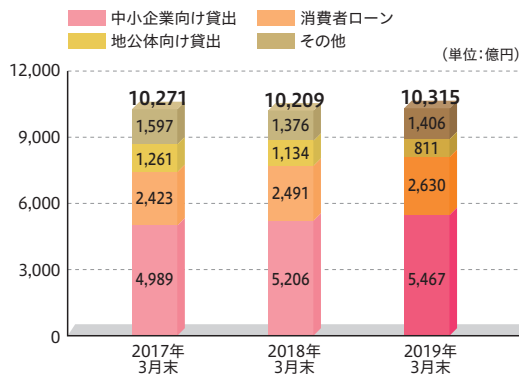
## 自己資本比率の状況

単体の自己資本比率は、中小企業向け貸出に注力したことに伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、2018年3月末比0.41ポイント低下の8.15%となりました。



## 貸出金の状況

貸出金残高は、地公体向け貸出が減少したものの、中小企業向け貸出や消費者ローンが増加したことにより、2018年3月末比105億94百万円増加の1兆315億56百万円となり、きらやか銀行として過去最高の貸出金残高となりました。



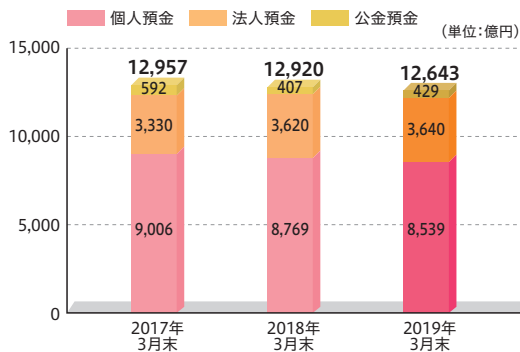
### 用語解説

■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。



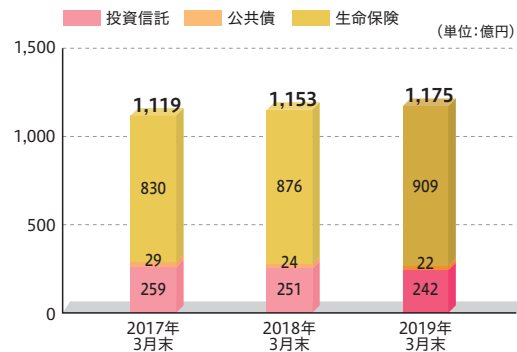
## 預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、法人預金は増加したものの、個人預金が減少したことなどから、2018年3月末比277億11百万円減少の1兆2,643億円となりました。



## 預かり資産の状況

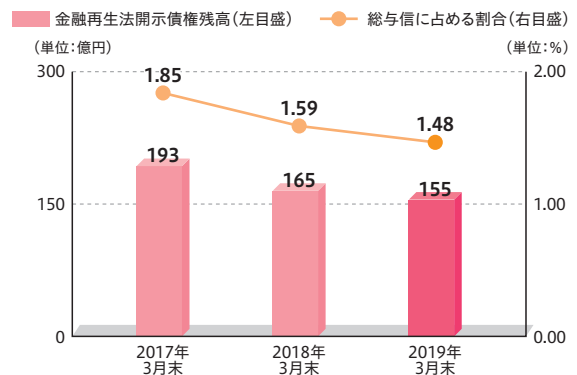
預かり資産残高は、お客さまの保険運用ニーズが依然として高く、生命保険残高が増加したことなどから2018年3月末比21億82百万円増加の1,175億3百万円となりました。



## 金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、取引先企業の財務改善支援を組織的に実施した結果、2018年3月末比9億65百万円減少の155億54百万円となりました。総与信額に占める割合は、2018年3月末比0.11ポイント低下の1.48%となりました。

## 金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



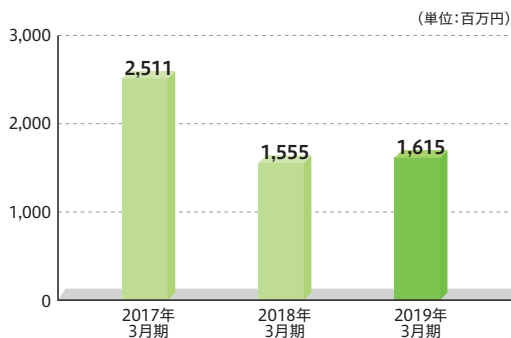
■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。  
 ■ 当期純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

# 業績ハイライト(単体)

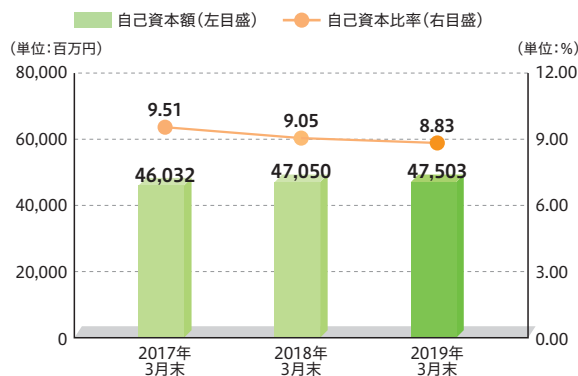
## コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、生命保険販売手数料の増加等による役務取引等利益の増加に加え、物件費が減少したことなどから、前年同期比59百万円増加の16億15百万円となりました。



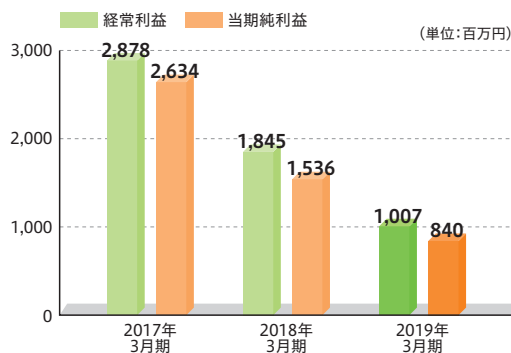
## 自己資本比率の状況

自己資本比率は、当期純利益を8億40百万円計上したことで自己資本額(分子)が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、2018年3月末比0.22ポイント低下の8.83%となりました。



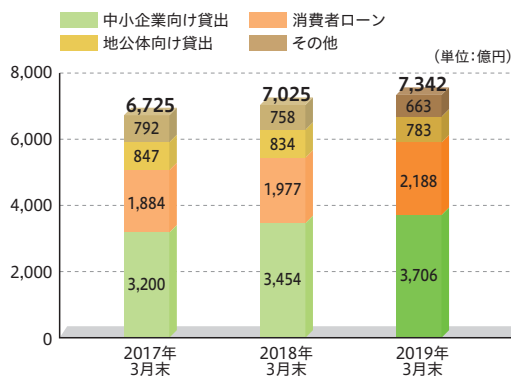
## 経常利益・当期純利益の状況

経常利益は、前年同期比8億38百万円減少の10億7百万円、当期純利益は、前年同期比6億96百万円減少の8億40百万円となりました。



## 貸出金の状況

貸出金残高は、お客さまの資金需要への積極的な対応により中小企業向け貸出や住宅ローンが増加したことなどから、2018年3月末比316億89百万円増加の7,342億67百万円となり、仙台銀行として過去最高の貸出金残高となりました。

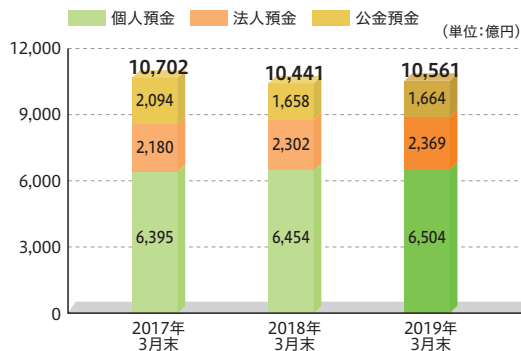


### 用語解説

■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

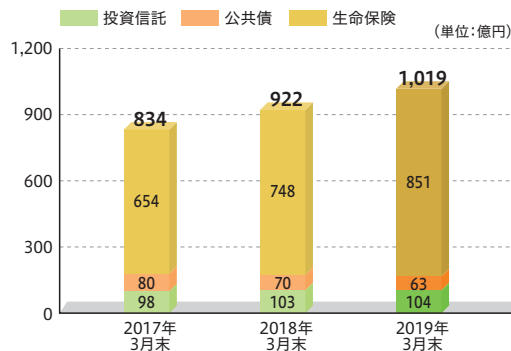
## 預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、個人預金と法人預金が増加したことなどから、2018年3月末比120億32百万円増加の1兆561億96百万円となりました。



## 預かり資産の状況

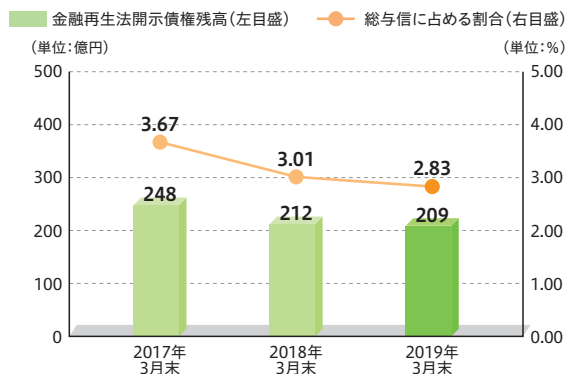
預かり資産残高は、お客さまの資産運用ニーズへの対応により生命保険残高が増加したことなどから、2018年3月末比96億33百万円増加の1,019億30百万円となりました。



## 金融再生法開示債権の状況

金融再生法開示債権の残高は、2018年3月末比3億75百万円減少の209億3百万円となりました。総与信額に占める割合は、2018年3月末比0.18ポイント低下の2.83%となりました。

## 金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。  
 ■ 当期純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

# 株主の皆様へ

## 株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
配当金受領株主確定日	3月31日および中間配当を行うときは9月30日。
基準日	定時株主総会の議決権の基準日については、3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告といたします。 [公告掲載ホームページアドレス] <a href="https://www.jimoto-hd.co.jp/">https://www.jimoto-hd.co.jp/</a> ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞、仙台市において発行する河北新報および山形市において発行する山形新聞に掲載して行います。

## 株式事務取扱場所

株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	みずほ信託銀行 株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル <b>0120-288-324</b> (土・日・祝日を除く 9:00 ~ 17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でも取り扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行(※)およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

## お問合せ先

みずほ信託銀行 株式会社

 **0120-288-324**

## 上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、2019年分の確定申告の添付資料としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、2019年分の確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

株式会社 じもとホールディングス  
〒980-0811 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号  
TEL.022-722-0011(代表)  
<https://www.jimoto-hd.co.jp/>

株式会社 きらやか銀行  
〒990-8611 山形市旅籠町三丁目2番3号  
TEL.023-631-0001(代表)  
<https://www.kirayaka.co.jp/>

株式会社 仙台銀行  
〒980-8656 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号  
TEL.022-225-8241(代表)  
<https://www.sendaibank.co.jp/>